

## 20年の月日が映し出すもの



全日本電設資材卸業協同組合連合会  
会長 若林 邦彦

今年も1月8日に、123万人の方々が、全国各地で晴れの日を迎えられました。御成人おめでとうございませう。ご両親や周りの方々の支えがあり、この日を迎えることが出来ています。どうぞ、これまでの感謝を忘れずに、着実に大人としての足跡を積み重ねて頂きたいと思ひます。

ところで今から20年前になります。が、参加国・地域72、競技数7・種目68、観客数144・3万人、我が国の獲得メダルは金5、銀1、銅4の合計10個。第18回オリンピック冬季長野大会の概要です。大雪の白馬ジャンプ競技場で、ラージヒル団体メンバー3番手が低空飛行、最終4番手の選手名を、祈りを込めた震える声で叫びます。最終ジャンパーは、日本中の期待に応え、見事な大飛行で金メダル。その時の感動を今でもはつきり思い出せます。翌月開催された第7回パラリンピック冬季競技大会では、獲得メダルは、金12、銀16、銅13、合計41個。堂々たる戦績です。長野オリンピック・パラリン

ピックの前年に生まれた方々が先述の晴れの日の主役の皆さんです。時は足早に過ぎていきます。

20年の歳月は、幼子を成人へと成長させます。一方、この歳月は、多くの感動を生んだ競技施設にも変化をもたらします。これらの施設は、現在も多くの方々に活用されているものと、そうでは無いものに分かれてしまいました。競技人口の少ない施設は維持費用を賄うことが出来ず、閉鎖に至るものも出てきております。一方アルペン競技の会場であった白馬八方尾根スキー場では、シニアスキーヤー向けに本格的なイタリア料理を提供するなど、リゾート地としてスキー以外の魅力をお届けすることで、満足度を高めています。

前回の若手経営者の会で、講師の先生がおっしゃっておりました。会社を永続的に成長させる為には、片手程度の柱を持つことが必要である。そして、その柱は、時代にあわせた形で順を追ってそれぞれが太くなり、細くなる柱を補う事が理想で

あると。一業専心は大きなリスクを伴います。今有る経営資源の積極的な活用を進めましょう。

花、人の輪、雪の結晶という3つのキーワードで、長野オリンピックのエンブレムは創作されました。マーク全体は個の花のように見え、花びらの1枚1枚が躍動する人のようです。そして、その影は大きな雪の結晶のようにも見えます。構成する一つ一つが融合して美しさと力強さを象徴、全日電材連の求める姿と同じです。

第23回オリンピック冬季競技大会が、隣国で開幕します。オリンピックは、別名平和の祭典とも言います。私事に至りますが、後援会長を務めるハーフパイプ女子の高校生選手も参加いたします。日本人選手の大いなる活躍を期待すると共に、政治を介入させずに穏やかな大会を望みます。また、現地の方々が、数年・数十年後に、オリンピックを開催してよかったと思える大会となるように心から切望致します。